報道関係者各位

大正製薬株式会社
〒170-8633　東京都豊島区高田 3-24-1

2025 年 12 月 17 日

大正健康ナビ、12/17 新着情報 「インフルエンザと家庭内感染。小さな子どものいる家庭は要注意！」を公開！

大正製薬株式会社（以下、当社）が運用する健康情報サイト「大正健康ナビ（https://www.taisho-kenko.com）」では、12 月 17 日に「インフルエンザと家庭内感染。小さな子どものいる家庭は要注意！」を新着公開しました。

当社では、かぜやタウリン、頭痛、熱中症などさまざまな疾患や成分に関する調査を実施しています。その調査から明らかになった、皆さまにとって役立つ情報を「大正製薬が調査したお役立ち情報」として公開しております。

今回のテーマは「インフルエンザと家庭内感染」です。例年より早く流行入りしたインフルエンザ。インフルエンザは年齢を問わず注意が必要な感染症ですが、特に子どもはかかりやすいと考えられています。また当社が行った調査では、小さな子どもがいると家庭内感染が起こりやすいことが分かりました。この結果から、子どものインフルエンザ感染予防のポイントや子どもがインフルエンザにかかってしまったかも？の際の対処法などを、川崎医科大学 小児科学 特任教授の中野 貴司先生にお伺いしました。

早めの対処が大切！

子どもがインフルエンザにかかると、突然の高熱や、ぐったりとして元気がないといった症状が現れます。早めに対処すると、回復しやすく重症化を防ぐことも可能です。一般用検査薬としてインフルエンザと新型コロナの両方を検査できるキットが市販されているので家庭に常備し、いつもと異なる様子があれば活用してみましょう。明らかな症状があるなら、速やかに病院を受診してください。

この他、本記事では、病院受診のタイミングやインフルエンザ発症後の登園・登校可能日もお伝えします。

12 月 17 日 新着健康情報

インフルエンザと家庭内感染。小さな子どものいる家庭は要注意！

https://www.taisho-kenko.com/ingredient/60/

＜目次＞

1. 子どもはインフルエンザにかかりやすい？
2. 小さな子どもがいると家庭内感染が起こりやすい
3. 子どものインフルエンザ感染予防のポイント
4. 子どもがインフルエンザにかかってしまったかも？
5. 家庭内感染を防ぐためにできること

監修プロフィール

川崎医科大学 小児科学　特任教授
中野 貴司（なかの・たかし）先生

日本小児科学会小児科専門医・指導医、日本感染症学会専門医・指導医、ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター（ICD）、国際渡航医学会認定資格、臨床研修指導医。三重大学医学部小児科、国立病院機構三重病院などを経て現職。ガーナ共和国での小児医療や中国ポリオ対策プロジェクト、ニジェール青年海外協力隊チームで活動した経験ももつ。

大正健康ナビ：https://www.taisho-kenko.com

大正健康ナビでは、生活習慣病などのつらい症状、人には言いづらい悩みの原因、症状、改善や予防法をご紹介。また、気になる症状をすぐにチェックできるコンテンツもご用意。いろいろな疑問にも専門医が分かりやすくお答えします。

大正製薬について

当社は「人々の病気を予防し、健康を増進させたい。」こうした思いから大正元年に創業しました。以来、100 年以上にわたって生活者の皆さまの 健康で豊かな暮らしの実現に貢献するために、病気の予防や治療、健康によりそうべく、医薬品から食品まで幅広い製品ラインアップで、 皆さまのさまざまなニーズにお応えしてまいりました。昨今、健康意識が高まる生活者の皆さまのニーズが多様化しており、このような変化に柔軟に対応しながら高品質な製品とサービスを提供し続けることで、皆さまの健康に寄り添ってまいります。

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞
大正製薬株式会社　メディア推進部　03-6382-7304
梶田　寛文　　h-kajita@taisho.co.jp
田中　秀治　　shuj-tanaka@taisho.co.jp